



題字は達増知事

令和4年7月号

発行所

一般社団法人 岩手県畜産協会

〒020-0605 滝沢市砂辺389番7

☎ 019-694-1300(代)

FAX 019-694-1305

URL: http://iwate.lin.gr.jp

E-Mail: info@iwate.lin.gr.jp

印刷 小松総合印刷



鹿児島全共に向けて

全国和牛登録協会岩手県支部

支部長 林 伸彦

令和4年10月6日～10日の5日間、鹿児島県において第12回全国和牛能力共進会(以下「全共」という。)が「和牛新時代地域かがやく和牛力」をテーマに40道府県459頭の出品割当頭数で開催されます。ちなみに、第1回大会は、昭和41年に岡山県で「和牛は肉用種たりうるか」をテーマに6県99頭の出品で開催されており、テーマだけを比べて見ても隔世の感を禁じ得ません。

また、昔から良い牛や健康な牛を見分ける方法として「天角地眼鼻たれて、一石六斗二升八合(or一黒鹿頭耳小歯違う)」とか、牛作りのポイントとして「但馬は霞の如く使え」という話を20年以上前に登録事業を担当した際に先輩たちに教えていただいた記憶があります。和牛は明治時代以前からの日本在来の牛をもとに選抜を繰り返して作られております。当初の用途は役用牛で、その後役肉用牛となり肉用牛へと変遷してきておりますが、その用途に見合った育種・改良がなされてきたものと推察されます。

そのような中、全共は改良の成果やその優秀性を競う大会として、5年に1回開催されております。現在の和牛は肉用牛であり、事業としての主産物は子牛で、その多くは家畜市場等で肥育農家に引き取られていきます。このような経過から、

審査は子牛を生産する繁殖事業としての理想を求める「種牛の部(雄牛・雌牛)」と肥育事業としての肉質の理想を求める「肉牛の部」との2部門制となっております。

さて、今年の鹿児島全共に向けた出品牛造成計画の基本方針は平成30年度に作成し、交配雌牛のリスト作成とその交配開始は平成31年度からと5年がかりとなっております。また、経産牛群に至ってはそれ以前からの牛作りとなっております。鹿児島全共用に造成し生まれた牛やピックアップされた牛群は、地区選抜会等を経て7月27日(水)に開催される鹿児島全共出品牛最終選抜会を兼ねた第66回岩手県畜産共進会黒毛和種の部に出品され、県代表牛が選抜されて全共に出品されます。出品区分・頭数並びに出品牛の目標は次のとおりです。

岩手県代表牛

種牛の部： 個体出品区 3区3頭、
群出品区 3区3群(10頭)

※総合評価群含む

肉牛の部： 個体出品区 1区1頭、
群出品区 2区2群(6頭)

※総合評価群含む

特別区： 1区1頭

※高校・農業大学の部

次頁へ続く

畜産春秋

もくじ CONTENTS

畜産春秋	1	第12回全国和牛能力共進会[第2区(若雌の1)]/[第3区(若雌の2)]県予備選抜会	8
第90回定時総会	2	第12回全国和牛能力共進会[第4区(繁殖雌牛群)]/[第6区(総合評価群)]県予備選抜会	8
令和4年度農林水産部畜産課業務方針(その2)	4	平庭闘牛大会わかば場所	8
参考図書のご案内	5	家畜の保健衛生(142)	9
岩手県養豚振興会第25回通常総会及び令和4年度第1回養豚経営研修会開催	6	畜産の研究(138)	10
岩手県チキン協同組合第50回通常総会	6	畜産技術情報(91)	11
岩手県馬事振興会第50回定時総会	7	子牛市場及び家畜市場成績	12
第12回全国和牛能力共進会岩手県協賛会設立総会	7		

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページでご覧いただけます。】

入賞目標

- 第1目標 出品全区優等賞獲得
- 第2目標 優等賞3席以内の獲得
- 第3目標 種牛の部又は肉牛の部における名誉賞獲得

結びに、出品者はもとより、生産者・JA並びに県・市町村等一体となって精一杯頑張ってお参りますので、コロナ禍に加え、鹿児島県という遠隔地での開催ではありますが、ご支援、ご協力、そして心強い応援を賜りますようお願い申し上げます。

全国和牛能力共進会出品並びに入賞経過

開催回数 開催場所 開催年度	第1回 岡山 S41	第2回 鹿児島 S45	第3回 宮崎 S52	第4回 福島 S57	第5回 島根 S62	第6回 大分 H4	第7回 岩手 H9	第8回 岐阜 H14	第9回 鳥取 H19	第10回 長崎 H24	第11回 宮城 H29
出品区分数	0	1	6	8	8	10	11	10	9	9	9
内、優等賞獲得数	-	1	5	8	7	3	10	7	8	7	5
内、優等賞3席以内	-	-	-	1	1	1	4	2	-	1	1
内、名誉賞	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第90回定時総会

令和4年6月30日に一般社団法人岩手県畜産協会の第90回定時総会が開催され、上程の第1号議案「令和3年度計算書類及び財産目録について」及び第2号議案「役員補欠選任について」は、それぞれ原案どおり可決承認されました。

1 会長挨拶要旨

令和4年度第一四半期も本日で終わりとなるが、国内では新型コロナの第6波が尾を引く中、世界的な経済の回復基調や、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響を受けて、石油製品をはじめとして、ありとあらゆる物品の価格が上昇している。

まさに、グローバル経済のリスクが現実のものとなっており、農業資材価格の上昇により、我が国の農業経営を取り巻く環境は厳しさを増している。

畜産においては、配合飼料価格が過去最高水準にあり、国による現行の経営安定制度のみで乗り切ることが難しい情勢となっている。

こうした状況を受けて、地方自治体は独自の支援策を打ち出してきており、本日の新聞にも45都道府県の農業資材高騰対策が掲載されていた。農業団体としても、あらゆる機会を通じ、



国等に対して、経営安定への支援を求めて参りたい。

本県の畜産、とりわけ大家畜の酪農・肉用牛は、他産業・他作目と同様に経営戸数の減少傾向が続く中で、経営規模については、畜産クラスター事業等の活用により、着実な拡大が見られている。

こうした基盤強化の勢いが中折れしないよう、関係機関・団体と連携を密にして、可能な限りの支援を行って参りたい。引き続き、ご支援・ご協力を賜るようお願い申し上げます。

2 令和3年度事業報告

(1) 概況

令和2年3月以降、新型コロナの影響により急落した牛枝肉価格は、その年末には、前年同期を上回る水準にまで回復したが、肉用牛肥育経営の安定を目的として始められた肉

ご宿泊・ご宴会にご利用下さい。

くずまき交流館プラトール

TEL. 0195-66-0555 FAX. 0195-66-0511

乳製品の自宅宅配承っております。

ミルクハウスくずまき

TEL. 0195-66-0030 FAX. 0195-66-0031

風車が回る高原の焼肉レストラン

レストラン 袖山高原

TEL/FAX. 0195-68-2010

くずまき高原牧場特産品

くずまき高原牧場 一般社団法人 葛巻町畜産開発公社

〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻40-57-125

TEL. 0195-66-0211 FAX. 0195-66-0755

http://www.kuzumaki.jp

用牛肥育経営安定交付金制度生産者負担金納付猶予措置及びセットで創設された緊急支援対策（肥育牛出荷1頭当たり2万円交付）は、枝肉価格安定の動向を見極めるため令和3年5月末まで継続され、この間、当協会は、両事業の円滑な執行に努めた。

新型コロナは、人流の増加にほぼ連動して、幾度も感染拡大の波が押し寄せた。このため、感染防止対策として、事業推進に係る多くの会議等が、ウェブによるリモート開催を余儀なくされた。

畜産農家の家畜改良意識向上と生産技術相互研鑽を目的として実施している岩手県家畜共進会は、2年連続で種畜の部が中止となり、残念ながら、令和4年10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会に向けた機運醸成の機会として生かすことができなかった。

こうした中、令和2年度から始まった生産基盤拡大加速化事業（増頭1頭当たり24.6千円交付）については、前年度実績を若干下回ったものの、200戸の農家が参加し、導入頭数は591頭を数えた。同じく繁殖雌牛の増頭を目的とした肉用牛経営安定対策補完事業・中核的担い手育成増頭推進の導入実績79頭を合わせると670頭で、当協会の事業に関わる増頭数は令和元年度の約3倍に上り、過去最高だった令和2年度に次ぐ頭数となった。加速化事業が、繁殖農家の潜在的な増頭意欲を刺激する結果となった。

畜産クラスター機械導入事業では、前年度より9件多い92件がほぼ要望どおり採択となり、畜産経営の負担軽減・収益性向上に寄与できた。

家畜衛生面では、豚熱や高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の東北における発生リスクが、これまでになく高まった年度となった。前年度の養豚版に続いて、養鶏場における自衛防疫意識の高揚を図るため、「飼養衛生管理基準のポイント（養鶏版）」を作成したが、県内養鶏場全戸配布前の2月12日に、県北地域養鶏場でHPAIの発生を許すこととなった。

畜産経営を取り巻く環境としては、令和2年度後半以降、複合的な要因による配合飼料

価格の上昇が続くとともに、コロナ禍からの世界経済の回復に伴う原油の需要増等により、国内燃油価格の高騰をもたらしている。

さらに、ロシアによるウクライナ侵攻が、こうした状況に拍車をかけており、農業資材全般の価格上昇が今後の畜産経営の圧迫要因になりつつある。

このように、畜産経営については、先行きに不透明感を増す状況となっており、当協会には、今後一層、畜産農家のニーズへの的確な対応が求められている。

(2) 事業区分ごとの事業費

ア 実施事業

(ア) 継続事業1（畜産経営の改善指導等）	82,737千円
(イ) 継続事業2（肉用牛肥育経営の安定）	303,883千円
(ウ) 継続事業3（家畜自衛防疫）	204,977千円
計	591,597千円

イ その他事業

(ア) その他1 家畜人工授精用精液流通調整事業	50,771千円
(イ) その他2 家畜登録事業	45,849千円
(ウ) その他3 生乳検査事業	88,730千円
(エ) その他4 研修事業ほか	2,231千円
計	187,581千円

3 補欠選任された新役員

○ 理事

服 部 隆 行（岩手県中央家畜衛生協議会代表幹事）
及 川 和 徳（岩手県南家畜衛生推進協議会代表幹事）
橋 本 晋 栄（岩手県養豚振興会会長）
菊 池 伸 也（学識経験者）

○ 監事

藤 原 孝 務（岩手県農業信用基金協会）

なお、第90回定時総会終了をもって高橋喜和夫副会長が退任し、総会終了後に開催された令和4年度第2回理事会において、後任の副会長理事には渡辺亨常務理事が、常務理事には菊池伸也新理事が選定されました。



登録番号 L14000002

母豚2,000頭の一貫経営

・ JGAP認証農場 ・ 良質豚ふん堆肥の供給
・ 徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給

「みなみよ〜とん株式会社」

岩手町大字川口36-242-3

TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373

※精肉のご用命は岩手畜流会（食肉専門店）へ

令和4年度 農林水産部畜産課業務方針 その2

II 令和4年度の業務運営方針

1 本年度の業務における主要課題

対策事業の凡例 : ○県単新規 ○県単継続 ●国庫新規 △国庫継続 ◇機構事業

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェック方法など)	担当
2 安全・安心な産地づくりの推進	【目指す姿】 消費者から信頼を得ながら、国内有数の畜産主産地として本県の地位が高まっている		
(1) 全畜種共通	○JGAP認証農場 R3: 13戸 ⇒ R4: 14戸	【畜産GAPの推進】 ① 地域における指導体制の充実に向けた指導員の養成（指導者養成研修会派遣9人） ② JGAP認証取得意向農場に対する個別指導の実施（7回×6公所）、取組事例研修会の開催（3回） ③ JGAP認証取得意向農場への専門コンサルタント派遣、認証取得支援システムに要する経費の支援 ④ JGAP認証審査に合格した生産者に対する認証取得経費の支援 ⑤ 中小規模の畜産経営体のJGAPへの理解醸成（持続的生産強化対策事業のうち畜産GAP拡大推進加速化事業（△））	畜政担当
(2) 家畜伝染性疾患の監視・危機管理体制の充実・強化	○飼養衛生管理基準を遵守する農場 牛 R3: 55.5% ⇒ R4: 75% 豚 R3: 96.4% ⇒ R4: 100% 家きん R3: 100% ⇒ R4: 100%	【事前対応型の家畜伝染病防疫体制の整備】 ① 家畜伝染病の侵入防止対策の強化を図るため、飼養衛生管理基準の遵守の徹底に係る農場の巡回指導*や農場のバイオセキュリティの強化に資する資機材の整備支援等の実施 *農場定期巡回：牛 1回/5年、豚 1回/年、家きん 2回/年 ② 家畜飼養状況の定期的な把握の実施（定期報告受理とデータ更新） ③ 初動防疫体制充実のため、県民くらしの安全課と協力し、防疫作業支援班員等の動員体制、協定及び所要マニュアル等の見直し、大規模農場での発生時の課題等の検討の実施 ④ 各種疾病対策マニュアル〔高（低）病原性鳥インフルエンザ、豚熱、口蹄疫〕に基づく国・県レベルでの防疫演習の実施 〔家畜伝染病予防事業（△） 農場バイオセキュリティ向上対策事業（△）〕 ⑤ 豚熱の発生予防を図るため、家畜防疫員及び知事認定獣医師によるワクチン接種の実施 （豚熱予防的ワクチン接種事業（△））	衛生担当
	○特定家畜伝染病等の確定診断率 R3: 100% ⇒ R4: 100% ○高病原性鳥インフルエンザ・豚熱・口蹄疫の発生 R3: 1戸 ⇒ R4: 0戸 ○牛ヨーネ病清浄化対策農場（対象3農場） R3: 100% ⇒ R4: 100% ○牛伝染性リンパ腫清浄化促進農場 R3: 156戸 ⇒ R4: 160戸 ○オーエスキー病清浄度維持率 R3: 100% ⇒ R4: 100%		【家畜伝染病診断技術能力の向上】 ① 家畜防疫員・臨床獣医師等を対象とした特定家畜伝染病等*の診断技術研修の開催 *口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、炭疽 ② 家畜衛生講習会・研修会への派遣によるスペシャリストの育成（5～12月、細菌1名、総合1名、基本1名、牛疾病1名、豚疾病1名、鶏疾病1名、獣疫医学1名、海外悪性伝染病1名、病性鑑定研修4名） （家畜伝染病予防事業（△））
○改善（目標達成）農場 R3: 100% ⇒ R4: 100%	【重要家畜伝染病等の防疫対策の推進】 ① 口蹄疫に類似する症状を呈する牛・豚疾病情報の迅速な把握 ② 豚熱ワクチンの接種による免疫獲得状況の把握（73戸） ③ 高病原性鳥インフルエンザ対策のための家きん飼養者への報告徴求の継続（509農場）と、高病原性鳥インフルエンザウイルスのモニタリングの実施（69農場） ④ 牛ヨーネ病の法定検査の実施（5年間隔）、県外導入牛及び県外預託牛検査の継続、発生農場における計画的自主淘汰の推進 ⑤ 牛伝染性リンパ腫の発生農場の清浄化の推進、発生農場・公共放牧場・集団育成施設とその利用農場におけるまん延防止対策の継続 ⑥ 豚オーエスキー病の清浄性確認検査の実施（2か年間隔で県内全戸を実施） 〔家畜伝染病予防事業（△） 牛海綿状脳症防疫対策事業（△）〕 ⑦ 野生いのししへの経口ワクチン散布の検討	衛生担当	
		【生産性向上対策の推進】 ① 関係機関・団体で組織する「いわて酪農の郷サポートチーム」及び「いわて肉用牛サポートチーム」による乳質改善指導、繁殖巡回指導等の生産性向上の支援（随時） ② 診療獣医師との連携による生産性の阻害要因の特定（病性鑑定）及び対策の実施（随時） （家畜衛生技術指導事業（△））	衛生担当

動物の健康は人の健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。

動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品

MPアグロ株式会社

本社：北海道北広島市大曲工業団地6-2-13 盛岡支店：TEL 019(638)3291

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェック方法など)	担当
	<p>○動物用医薬品及び飼料の使用に係る違反事例 R3：0件 ⇒ R4：0件</p> <p>○産業動物臨床獣医師及び農林水産分野公務員獣医師数 産業動物獣医師 R2：150名 ⇒ R12：155名 農林水産分野公務員獣医師 R2：73名 ⇒ R12：80名 獣医療を提供する体制の整備を図るための 岩手県計画（令和3年3月策定）の目標値</p>	<p>【畜産物安全性確保対策の推進】</p> <p>① 畜産物中の薬剤の残留防止を図るため、ポジティブリスト制度に基づいた動物用医薬品販売業者に対する適正流通、農場に対する適正使用の指導（通年）</p> <p>② 飼料安全法に基づく飼料取去・立入検査による適正な飼料の流通の監視（4～12月）</p> <p>③ 鶏卵のサルモネラ汚染防止を図るための検査、ネズミ等有害駆除等による衛生管理の指導（通年）</p> <p style="text-align: right;">〔家畜衛生技術指導事業（△） 飼料安全対策事業（△）〕</p> <p>【獣医師の確保対策の推進】</p> <p>① 獣医系大学等に対する就職説明会の開催（9大学：リモートによる開催・対応）</p> <p>② 県機関における獣医学生の職場体験研修の受入（延べ5大学40名程度、8～9月）</p> <p>③ 修学資金貸付事業の実施（継続分：大学生12名、新規分：大学生3名、高校生1名）</p> <p>④ 地域の実情にあった獣医療提供体制の検討（3地域） (獣医師確保対策事業（○）)</p>	<p>衛生担当</p> <p>衛生担当</p>
3 放射性物質の畜産被害への対応	<p>【目指す姿】 原発事故に起因する放射性物質被害を乗り越えた生産者が、経営の正常化とともに、新たに生産基盤の強化を行っている</p>		
(1) 放射性物質検査	<p>○県産畜産物の安全性の確保 牛肉中の放射性物質濃度50Bq/kg超過事例 R3：0件 ⇒ R4：0件</p>	<p>【放射性物質検査の計画的な実施】</p> <p>① 牛肉中の放射性物質濃度検査の対象牛の出荷前の牛肉中放射性セシウム濃度算定シートによる推定及び畜場出荷時の生体推定検査の実施</p> <p>② 利用自粛要請地域における前年度に22Bq/kg超過した圃場、肥培管理不足のほ場、新播草地及び畦畔草等の検査の実施（1,500点予定） (放射性物質被害畜産総合対策事業（○）)</p>	畜政担当
(2) 汚染牧草等の処分と適正保管	<p>○汚染稲わら等は、焼却等の処理完了まで適正保管 牧草の処理必要(保管)量：1,164トン 稲わらの処理必要(保管)量：383トン 牛ふん堆肥の処理必要(保管)量：4,533トン</p>	<p>【汚染牧草等の処理の促進】</p> <p>① 処理の長期化が見込まれる市町への中長期保管対策（一時保管施設の補修等）の支援</p> <p>② 関係部局との協調による一時保管中の牧草、稲わら及び牛ふん堆肥の焼却等の促進 (放射性物質被害畜産総合対策事業（○）)</p>	畜政担当
(3) 東電への損害賠償請求	<p>○放射性物質被害畜産総合対策事業費全額の早期受領 賠償請求額：9,538,365千円（第1～13次） 合意済額：9,521,543千円（見込含） 支払対象外：6,289千円 未払額：10,533千円</p> <p>○R4年度中に第14次請求（R3年度事業分）を予定（年1回）</p>	<p>【東京電力との損害賠償請求に係る協議の継続】 未合意となっている経費に係る東京電力との協議の継続</p>	畜政担当

参考図書のご案内

中央畜産会施設・機械部会 企画・監修
2022畜産施設機械ガイドブック



わが国の畜産経営の発展は、畜産施設・機械メーカーによる技術改革が生産性を向上させ、労働力の負担軽減、規模拡大、生産物のコスト低減に貢献してきました。今後も先進的な施設・機械に係わる情報の重要性が増していることから、中央畜産会の賛助会員である施設・機械部会会員及び掲載を希望した畜産施設・機械メーカー81社の協力を得て全面的な改定を行いました。「飼料用」、「牛用」、「豚用」、「家さん用」、「畜産環境・衛生対策用」、「畜舎・ICT関連・資材」の章ごとに機械の用途、区分と分類を設けて整理し収録しました。経営形態、目的、地域環境を踏まえた畜産施設・機械の導入を行う上で、大いに参考となる一冊です。

【主な内容】

- 第1章 飼料用施設・機械
- 第2章 牛用施設・機械・器具
- 第3章 豚用施設・機械・器具
- 第4章 家さん用施設・機械・器具
- 第5章 畜産環境・衛生対策用施設・機械・器具
- 第6章 畜舎・ICT関連・資材・その他

価格
3,800円
(税・送料別)

お問い合わせ・お申し込みは畜産協会へ

農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ

小田島商事株式会社

プレミックス工場 0198-26-4726 代 家畜衛生食品検査センター 0198-26-5375 代 大館(営)、横手(営)、青森(営)、古川(営)、山形(営)、酒田(出)、福島(営)、旭川(営)、札幌(営)、帯広(営)、釧路(出)

＜動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材＞

本社 〒025-0311花巻市卸町66番地 TEL 0198-26-4151 代
花巻(営) 0198-26-4700 代 八戸(営) 0178-34-2284 代
大船渡(営) 0192-26-4740 代

岩手県養豚振興会第25回 通常総会及び令和4年度 第1回養豚経営研修会開催

岩手県養豚振興会（遠藤啓介会長）の第25回通常総会及び令和4年度第1回養豚経営研修会が5月18日に盛岡市内で開催されました。



遠藤会長

冒頭、遠藤会長から、「私事ではあるが、この度、日本養豚協会（以下「JPPA」という。）の役員定年制導入に伴い、JPPAの理事を退任することになった。これを機に、岩手県養豚振興会の会長を辞し、後任には、当振興会の理事である橋本晋栄氏を推薦したい。JPPAには理事として25年携わり、本県の養豚事業者の代表として、声を届けてきた。長年にわたる、皆様のご支援、ご協力に感謝する。」（要旨）とのご挨拶がありました。

総会では、令和3年度事業報告及び収支計算書、令和4年度事業計画及び収支予算書等が原案どおり承認されました。また、理事会では橋本晋栄氏が新会長に選定されました。



石淵講師

研修会では、まず最初に熊本興畜(株)代表取締役の石淵大和氏から、「生産システムにこだわりぬいた養豚経営戦略」と題した講演があ

りました。要旨：1繁殖サイクルを147日、授乳期間を3週間として、7グループに分け、交配、分娩、離乳をグループ毎に行うことで、そのグループでのオールイン・オールアウトが可能。グループの日齢が集約されるため、疾病発生低減や、オールアウト後の消毒実施により、衛生的な環境を保つことができ、防疫面でのメリットがある。作業を単純化、標準化、専門化（3S）することにより、誰がやっても安定した成績に繋げることができる。



山本講師

次に、中部飼料(株)八戸工場養豚課長の山本了氏から、「国際情勢とこれからの原料動向」と題した講演がありました。要旨：ロシアによるウクライナ侵攻の影響は長期化が予想される。ウクライナは世界有数のとうもろこし輸出国であり、穀物市場は現物価格の高騰に為替相場の円安も相まって今年、過去に例のない飼料価格高騰が予想されているが、一方で配合飼料メーカーとしては、飼料用米の他、子実用とうもろこしの可能性を探っている。

その後、岩手県農林水産部畜産課主査の佐藤裕夫氏から、野生イノシシ経口ワクチン散布対策に係る国・県のスキームや、散布に当たっては県協議会の設立と全国協議会への加入と散布計画の策定が必要であることなどが説明されました。

なお、研修会の模様は、新型コロナの影響で会場での聴講ができなかった会員に、同時ウェブ配信されました。

岩手県チキン協同組合 第50回通常総会

岩手県チキン協同組合（十文字保雄理事長）の第50回通常総会が、組合員全員出席の下、5月20日に盛岡市内で開催されました。

冒頭、十文字理事長は、「高病原性鳥インフルエンザがとうとう本県でも発生した。県がこれまで防疫演習など事前に準備をしてきたこともあっ

て、迅速な殺処分など防疫措置をしていただいた。感謝申し上げたい。まだ野鳥での発生が続いているので、これからもしっかりと予防に努めていきたい。岩手県チキン協同組合は創立50周年を迎え記念誌を発刊した。過去を振り返れるような立派な記念誌となった。50周年記念式典も考えたが、新型コロナが継続している状況なので中止し、出向いての感謝状贈呈を行った。今やブロイラー産業は岩手県の農業産出額で米を抜いてトップとなり、地域の活性化を支える産業にまで発展し

- 共進会用 馬・乳牛用頭絡手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・肉牛用牛衣
- 牛馬手入用毛ブラシ・根ブラシ・金くし
- 普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・鞍馬具一式・畜犬具
- 電気工事用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯
- せんでい鉄ケース他造園工具ケース類 ●その他特別注文のカバン等承っております

創業110年品質第一手造りの店

岩手県指定店 **塩釜馬具店**

盛岡市大沢川原2丁目2の32 TEL019-622-5393 (労働福祉会館隣)

た。」(要旨)と、挨拶を行いました。

総会では令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画・予算等の議案が原案どおり承認されました。令和4年度事業計画の柱には、①岩手県プロイラー価格安定対策事業の推進、②高病原性

及び低病原性鳥インフルエンザ防疫対策の徹底、③農場・食鳥処理工場の衛生管理対策の強化、④県産鶏肉普及宣伝活動の実施が掲げられました。また、理事の補充が行われ、参与の熊谷光洋氏が常務理事に選任されました。

岩手県馬事振興会第50回定時総会

一般社団法人岩手県馬事振興会(千葉伝会長)



安田副会長

の第50回定時総会が、令和4年5月30日に開催されました。

冒頭、都合により欠席した千葉会長にかわり安田出副会長から、「岩手県馬事振興会は、岩手県の馬産振興を目的として昭和47年に設立され、以来、50年間にわたり、生産

者の育成、馬の繁殖改良、飼養管理等の生産技術面の支援や馬事情報等の提供などで、その役割を担ってきた。しかしながら、農用馬の飼養戸数・頭数の減少には歯止めがかかっていない。皆様方と知恵を出し合って現状の打開を図りたい。」(要旨)との挨拶がありました。

総会では、令和3年度事業報告及び計算書類や任期満了による役員候補者の選任等が上程され、原案どおり承認されました。

また、総会終了後に開催された理事会において、千葉伝氏が会長(再任)に、副会長には佐々木勲氏(再任)と安田出氏(再任)、常務理事には菊池伸也氏(新任)が選定されました。

第12回全国和牛能力共進会 岩手県協賛会設立総会

令和4年6月6日に、第12回全国和牛能力共進会岩手県協賛会の設立総会が開催されました。この協賛会は、鹿児島県で開催される標記共進会において、本県代表牛が優秀な成績を収められるよう、出品対策等に万全を期すことを目的として設立されたものです。



冒頭、和牛能力共進会岩手県対策協議会の小野寺敬作会長から、「第12回全国和牛能力共進会は、『和牛新時代 地域かがやく和牛力』をテーマとして掲げており、そのねらいは第11回宮城大会で達成した成果をより確固たるものにすることと理解している。とりわけ、第12回大会では、和牛生産の出発点である繁殖能力や健全性など、種牛性の改良改善が求められており、種牛の部の全区で分娩間隔が条件化され、生産性向上の強化等を期待す

る大会となっている。本県では、現在、代表牛の予備選抜会等に鋭意取り組んでいる。今後は、7月27日に開催される第66回岩手県畜産共進会黒毛和種の部で、本県代表牛の最終選抜を行う予定である。共進会の本番まで残すところ4か月、上位入賞に向けて、県内関係機関・団体の連携の下、チームいわてとして、一致団結して取り組んで参りたい。」(要旨)とのご挨拶がありました。



総会では、協賛会規約や事業計画・収支予算、負担金納入方法等が承認され、また、役員には、会長に一般社団法人岩手県畜産協会長の小野寺敬作氏、副会長に岩手県農林水産部長の藤代克彦氏と公益社団法人全国和牛登録協会岩手県支部長の林伸彦氏が選任されました。

小ロットのオンデマンド印刷から
大量商業印刷まで

各種印刷・ドキュメント処理・アンケート調査支援



CTPシステム

小松総合印刷株式会社

岩手県盛岡市鉦屋町15-4 TEL (019)624-1374 FAX (019)623-6719
E-mail:mail@komatsu-gp.com URL:http://www.komatsu-gp.com

第12回全国和牛能力共進会 「第2区(若雌の1)」「第3区 (若雌の2)」県予備選抜会

和牛能力共進会岩手県出品対策委員会(委員長・米谷仁県畜産課総括課長)は、令和4年4月27日に、第12回全国和牛能力共進会(令和4年10月に鹿児島県で開催予定)の「第2区(若雌の1:生後14か月以上~17か月未満)」及び「第3区(若雌の2:生後17か月以上~20か月未満)」出品候補牛の予備選抜会をJA全農いわて県南家畜市場で開催しました。この両区は県有種雄牛産子であることが出品条件となっています。

選抜の結果、第2区では7頭、第3区では16頭が選抜されました。出品候補牛は、今後、飼養管理について関係者から指導を受けながら、最終選抜会を兼ねた令和4年7月27日(水)の岩手県畜産



共進会に臨むこととなっています。

また、当日は、特別区(高校及び農業大学の部)の集畜調査会が開催されました。県立農業大学校から1頭、盛岡農業高校から2頭、水沢農業高校から1頭の計4頭が集まり、それぞれの牛を担当する生徒さん達が、真剣なまなざしで審査の際の留意事項に耳を傾けていました。

第12回全国和牛能力共進会 「第4区(繁殖雌牛群)」 「第6区(総合評価群)」県予備選抜会

和牛能力共進会岩手県出品対策委員会(委員長・米谷仁県畜産課総括課長)は、令和4年6月2~3日にJA全農いわての県南家畜市場と中央家畜市場で、第12回全国和牛能力共進会(令和4年10月に鹿児島県で開催予定)の「第4区(繁殖雌牛群:3産以上、1組3頭)」及び「第6区(総合評価群:種牛群、1組4頭)」出品候補牛の予備選抜会を開催しました。

選抜の結果、第4区では2組8頭(予備牛2頭を



含む)、第6区では2組11頭(予備牛3頭を含む)が選抜されました。出品候補牛は、今後、飼養管理について関係者から指導を受けながら、最終選抜会を兼ねた令和4年7月27日(水)の岩手県畜産共進会に臨むこととなっています。

平庭闘牛大会 わかば場所

令和4年平庭闘牛大会「わかば場所」が、5月15日に久慈市山形町の平庭闘牛場で開催されました。まず、闘牛大会の安全を祈願する神事に続き、

主催者であるいわて平庭高原闘牛会の八重桜友夫会長が、「去年は新型コロナの影響で、8月のしらかば場所を中止したが、今年は、全場所無事に開催できることを願っている。ご来場の皆様にも、感染防止対策へのご協力をお願いします。平庭闘牛は、東北唯一の大会というだけでなく、闘牛の本場である新潟・鹿児島・沖縄に、もと牛を供給す

お届けします！ 一歩すすんだ安全・安心

JA全農北日本くみあい飼料(株)北東北支店

〒020-0891
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2丁目5番2号
TEL 019-638-7910 FAX019-638-7920

「牛の飼料は、すべて専用工場
・専用工程で製造し、専用車で
生産者の皆様にお届けいたします。」

る役割も担っている。歴史ある闘牛大会を関係者と共に盛り上げていきたい。」(要旨)と、開会の挨拶を行いました。

この大会は、本場所(6月12日「つつじ場所」、8月21日「しらかば場所」、10月16日「もみじ場所」)の開催を前にして、初めての出場を目指す若牛を闘牛に慣らす、言わば練習の場所に位置付けられています。また、この場所での牛の状態を参考にして本場所での番付表が作成されます。この日は2歳牛9頭と昨年デビューした3歳牛6頭(番付は前頭)により角を合わせる9番の取組が行われました。

練習の場所ということもあって、本格的な闘いになる前に牛同士を引き離します。これは、怪我をしたり、負け癖が付いたりしないようにするためです。



会場には、わかば場所としては過去最多となる約900人の来場者がありました。自然豊かな屋外ということもあって、若牛の闘いぶりに、時折大きな声援がわき、新型コロナの暗雲を吹き飛ばすかのような大会でした。

家畜の保健衛生 (142)

牛5種混合ワクチンの必要性を考える

和牛市場に子牛を上場する際は、必ず牛5種混合ワクチンを接種することとなっていますので、繁殖農家の皆さんには、最も身近なワクチンかと思えます。

1 牛5種混合ワクチンとは

牛伝染性鼻気管炎(IBR)、牛ウイルス性下痢(BVD)、牛パラインフルエンザ(PI)、牛RSウイルス病(RS)、牛アデノウイルス病(AD)という5種類のウイルス感染症の予防を目的としたもので、これらに共通する症状として、発熱、鼻汁などの呼吸器症状があります。

2 輸送熱と牛呼吸器病症候群(BRDC)を予防しよう

上場牛は、繁殖農家から家畜市場に集畜され、肥育農場等へ輸送され、群編成される過程において、さまざまなストレスを受け、発熱することがあります。こうした、いわゆる「輸送熱」は、上記ウイルスなどの感染により発症し、「牛呼吸器病症候群(BRDC)」を誘発します。

牛呼吸器病症候群は、「Bovine(牛の)」「Respiratory(呼吸器の)」「Disease(病気)」「Complex(複合体)」の頭文字をとって「BRDC」と呼ばれ、

IBR、BVD、PI、RS、ADウイルスの他、マイコプラズマ・ボビス、マンミア・ヘリカなどの細菌が混合感染することにより重症な肺炎や死産をもたらす複合感染症です。また、死亡に至らなくとも長期間にわたる抗菌薬投与を余儀なくされ、完治までに長時間を要し、その成長が著しく阻害される例もあります。

従って、輸送熱を含むBRDCの対策として、5種混合ワクチンの接種は欠かせません。

3 BVD対策として牛6種混合ワクチンもあります(詳細は令和4年5月号を参照)


BVDウイルスには遺伝子型により1型と2型があり、1型に対する抗体では2型を予防できないため、2型も予防可能な6種混合ワクチンもあります。

なお、BVDの生ワクチンは育成期に強力な免疫を誘導できますが、妊娠牛や3週間以内に種付け予定の牛には使用できません。かかりつけの獣医師にご相談してください。

各地域の家畜衛生協議会が扱う牛の呼吸器病ワクチン(一部抜粋)

ワクチン名	IBR	BVD		PI	RS	AD	1頭当たり接種料金
		1型	2型				
牛5種混合(生)	生	生	-	生	生	生	2,120円
牛5種混合(不活化)ボビバックB5	不	不	不	不	不	-	1,950円
牛6種混合(生・不活化)キャトルウイン-6	生	不	不	生	生	生	2,400円
牛6種混合(生・生)カーフウイン-6	生	生	生	生	生	生	2,390円

※「生」は生ワクチン、「不」は不活化ワクチン



液体窒素、凍結精液保管容器を通じて畜産界にお手伝いをしています。

東邦岩手株式会社

本社 岩手県紫波郡矢巾町大字藤沢第10地割136番地 TEL 019 (697) 4151

ホームセンター 盛岡市みたけ2丁目1番45号 TEL 019 (641) 1195

(直売部門) 盛岡市みたけ2丁目1番45号 TEL 019 (641) 3143

宮古営業所 宮古市松山第6地割30番地1 TEL 0193 (63) 4251

奥南営業所 北上市下鬼柳町14地割5番2号 TEL 0197 (67) 0551

畜産の研究 (138)

県有種雄牛「飛良美継」、「菊福秀」の後継牛として「百合花智」、「星乃栄」、「菊百合福」が新たにデビュー

いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会（県、農業団体等で構成。会長：米谷県畜産課総括課長）では、産肉性に優れる新規種雄牛「百合花智」、「星乃栄」、「菊百合福」の3頭を本県の基幹種雄牛として新たに選抜しました。

これらの種雄牛の凍結精液は、概ね1,000本まで1,000円/本（手数料別、税別）に価格を据え置き販売しております。

また、県では前年度より種山畜産研究室内に設置された「たねやま営業部」によるPR活動や、Facebookによる情報発信、今年度からは、産肉能力育種価を用いた交配シミュレーションを行う交配支援サービスを開始するなど、県有種雄牛の利用促進に向けて取組を強化しています。

【百合花智（ゆりはなとも）】

血統：飛良美継×百合茂×第1花国



現場後代検定の成績は、去勢・雌ともにBMS No.の平均値が9.1を記録し、本県でこれまでに実施した現場後代検定の中で過去最高の成績となりました（これまでの最高記録は8.6）。

また、A5率は89.5%を記録し、過去の記録を大きく更新しました（これまでの最高記録は68.4%）。

さらに、産肉能力育種価（令和4年3月評価）は、脂肪交雑及びバラの厚さについて、供用中の県有種雄牛の中で1位となり、エースとして相応しい実力を備えています。

【星乃栄（ほしのさかえ）】

血統：菊福秀×平茂勝×安福165の9

本牛は、本県のエースとして活躍してきた「菊



福秀（父は「菊谷」）の後継牛で、4代祖が県南地域の改良の基盤である「菊谷」です。

現場後代検

定の成績は、枝肉重量が去勢524.8kg、雌488.0kg、上物率100%という良好な成績でした。

また、現場後代検定材料牛が、第14回いわて牛後継者枝肉共励会において優秀賞を受賞し、一般出荷牛でも、第32回いわて牛枝肉共励会で優良賞を受賞しており、実力は折り紙付きです。

【菊百合福（きくゆりふく）】

血統：菊福秀×美津照重×百合茂

本牛は、「星乃栄」同様、「菊福秀」の後継牛で



あり、6、7代祖が県南地域の改良の基盤である「菊谷」です。

現場後代検定の成績は、BMS No.が去

勢9.1、雌8.9と過去の成績を大きく更新しました。特に、去勢のBMS No.は本県でこれまでに実施した現場後代検定の中で過去最高の成績となりました。雌では、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ及び歩留も県一般出荷平均以上であり（特に枝肉重量とバラの厚さは県一般出荷平均の+1σ以上）、造りが良好でした。

	性別	検定頭数	CW (kg)	REA (cm)	RT (cm)	SFT (cm)	YE	BMS (No.)	上物率 A5率
百合花智	去勢	8	515.4	64.0	8.8	2.3	75.1	9.1	100.0
	雌	11	481.7	63.5	9.1	3.5	74.6	9.1	89.5
星乃栄	去勢	12	524.8	66.5	8.6	2.7	74.8	8.3	100.0
	雌	7	488.0	60.1	8.5	3.7	73.5	7.4	52.6
菊百合福	去勢	10	495.6	60.1	8.2	2.8	74.0	9.1	100.0
	雌	10	490.7	67.0	8.6	3.1	74.9	8.9	80.0
県一般出荷平均 H28.4~R3.3	去勢	38,143	511.4	63.2	8.1	2.5	74.4	7.3	84.2
	雌	25,545	433.3	60.8	7.7	2.8	74.5	7.3	42.4

CW：枝肉重量、REA：ロース芯面積、RT：バラの厚さ、SFT：皮下脂肪の厚さ、YE：推定歩留、BMS：脂肪交雑



毎日3回、牛乳・ヨーグルト・チーズ。「3-A-Day」をはじめよう。

3-A-Dayのルールは簡単。牛乳・ヨーグルト・チーズをどれでも自由に1日3回（または3品）、食生活にとり入れる。そうすれば少ないエネルギー（カロリー）で食生活が改善されて、栄養バランスの良い食事になるという、簡単で手軽にできる健康習慣の提案です。

3-A-day 検索

岩手県牛乳普及協会

〒020-0024 盛岡市菜園一丁目4番10号第二産業会館 TEL.019-653-3795

畜産技術情報(91)

良質の自給飼料を確実に確保し、飼料費の上昇を緩和しましょう。牛舎環境の暑熱対策をしっかり行い、乳量、乳成分と種どまりを維持し、乳房炎と蹄の故障を予防しましょう。

1 採草地の管理

(1) 二番草の収穫

二番草の収穫時期は、一番草収穫から40～55日後が目安です。気温が高く、土壌と牧草の水分も多い時期であり、牧草が蒸れ上がりやすいので刈り遅れないようにします。オーチャードグラスは早めに収穫すると、比較的栄養価の高い二番草となります。刈取り高さは10～15cm（握りこぶし一つ分くらい）が目安です。極端な低刈りは、夏枯れと雑草侵入を招きます。

(2) 草地更新・追播の準備

地域により期間が異なりますが、8月から9月は牧草種子の播種適期です。草地更新を計画している場合は、作業工程を確認し、資材と機械の準備をしておきましょう。

植生で「雑草が多い」、土壌について「酸性が強い」「硬すぎる」「ルートマット（根の層）が厚い」場合は、完全更新や表層攪拌による簡易更新を行います。これ以外の場合は、追播が可能です。追播は、作溝式播種機や穿孔式播種機（写真1）を用いる方法、又はディスクハローのソフトな表層攪拌後に種子を散播する方法があります。既存牧草の草丈が長いと作業できないので、二番草収穫から追播までの期間が長い場合は、掃除刈が必要になります。

肥料価格が高騰しています。マメ科牧草の根粒菌は空中の窒素を固定するため、イネ科単播草地にマメ科牧草が入ることで、窒素肥料の節約が期待できます。県の施肥基準でイネ科主体草地とアルファルファ混播草地（マメ科率20%以上）の10アールあたり年間窒素施肥量を比較すると、アルファルファ混播草地が5～8kg少なくなっています。県の播種基準（表1）では、マメ科牧草の種子を含めていますので、更新や追播の際はマメ科牧草の導入を検討して下さい。

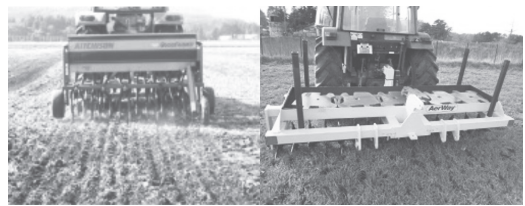


写真1 作溝式播種機(左)と穿孔式播種機(右)

表1 採草地における牧草種子の播種基準（岩手県）

区分	草種	播種量 (kg/10a)	備考
オーチャードグラス主体草地	オーチャードグラス	2.0	①乾草利用が主体の場合は、乾燥しがたいペレニアルライグラスを削除する
	ペレニアルライグラス	0.4	
	シロクローバー(大葉型)	0.2	
チモシー主体草地	チモシー	1.5	②アカクローバーは永続性に乏しく乾燥しがたいため、高蛋白質な飼料の確保の場合などを除き、適宜削除する
	ペレニアルライグラス	0.4	
	シロクローバー(中葉型)	0.2	
	アカクローバー	0.3	
アルファルファ	アルファルファ	1.5	アルファルファ単播の場合は、播種量を2.0kg/10aとする
	オーチャードグラス	0.5	
	計	2.0	

2 飼料用トウモロコシにおける熊の食害対策

圃場周辺の竹やぶ等は刈り倒し、見通しを良くしておきます。これにより見回りがしやすくなるとともに、熊に電気柵を視覚的にアピールする効果があります。

電気柵は7月下旬までに設置し、終日通電させ、電気柵に触れると痛いことを熊に学習させます。

電牧器は、通電時に5,000ボルト以上の電圧が確保できるものを選択します。電圧を点検し、電圧が弱い場合は、アース本数を追加します。電気柵に下草が触れると漏電して侵入防止効果が劣るので、下草刈りはこまめに行います。

電気柵は三段張り、地上から20cm、40cm、60～70cmを目安に張ります。地面が盛り上がったところやくぼ地には支柱を追加し、漏電や隙間からの侵入を防ぎます（図1）。

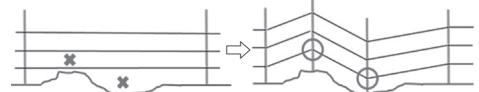


図1 地面の盛り上がりやくぼ地に支柱を追加する

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報
がんばる!畜産!5

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信中の内容・畜産の最新研究・技術を見る・豚の内質を中心とした育種改良技術/鶏肉特集第1弾江戸文化を受け継ぐ東京しゃもを大特集!/他

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL.03-6206-0846



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

3 牛舎環境の暑熱対策（乳用牛）

(1) 牛体に外から伝わる熱を減らす（図2）

牛舎の屋根に当たった日光からの放射熱で牛舎内温度と牛の体温が上昇します。屋根の断熱が弱い場合は、ドロマイト石灰の吹き付け、遮熱塗料の塗布、寒冷紗をかける、スプリンクラーで屋根に散水するなどが有効です。

また、牛舎の窓から射し込む日光は、寒冷紗やすだれを設置して遮光します。

(2) 牛体から出て行く熱を増やす（図2）

換気扇を用いて牛体周辺の空気の流れを作り、体感温度を下げるのがとても大切です。

真夏は、体感温度を8～10℃以上上げる必要があり、風速は2m/秒以上必要です。また、体感温度は湿度の影響を強く受けるので、湿気を含んだ舎内の空気をしっかり換気することも重要です。

換気扇の掃除や「つば」の取り付け（写真2）により風量が向上した事例が多いです。

順送換気では、妻面をできるだけ開放し、梁上の暑い空気が抜けることが大切です。換気扇と牛床の角度は、45～60度の範囲で調整します。牛体への送風を重視する場合は、角度を小さくします。

トンネル換気では、入気口を牛舎幅に近づけて設置できると、舎内の空気よどみが少なくなります。中央通路のみ風速が強い場合は、整流板で牛に風を流します。

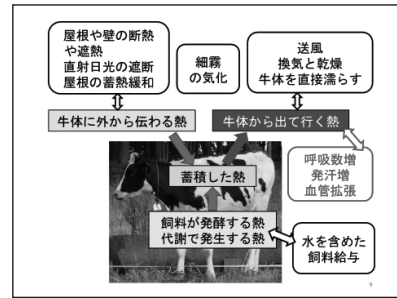


図2 牛体の熱の動きと対策



写真2 換気扇へのつばの取り付け

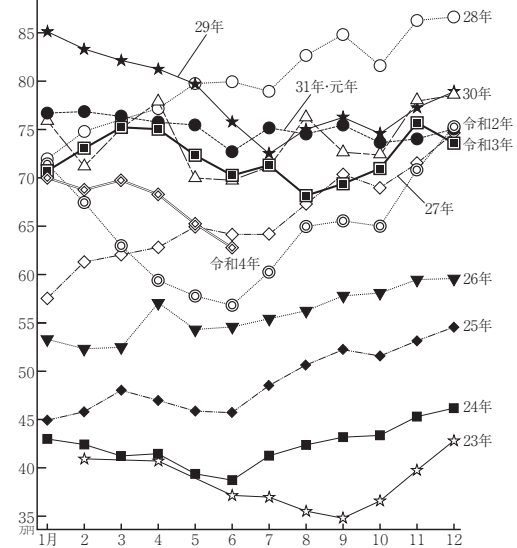
県内黒毛和種子牛市場成績

(全農岩手県本部)

市場区分	性別	令和4年5月			令和4年6月		
		頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重
県南初日 胆江・気仙	雌	112	624,407	296	130	600,025	292
	雄						
	去勢	171	731,133	330	180	665,983	328
	計	283	688,895	316	310	638,323	313
県南2日目 磐井	雌	96	616,413	291	100	562,551	292
	雄						
	去勢	158	703,213	335	166	665,851	330
	計	254	670,407	318	266	627,017	316
中央初日 滝沢・雫石 八幡平・玉山 岩手・葛巻	雌	123	610,455	277	150	584,452	272
	雄						
	去勢	251	682,294	308	245	659,151	308
	計	374	658,668	298	395	630,785	294
中央2日目 紫波・盛岡 花巻・北上 遠野	雌	137	625,579	295	126	579,683	292
	雄						
	去勢	197	662,373	329	205	656,518	323
	計	334	647,281	315	331	627,269	311
中央3日目 宮古・北部 奥中山・久慈	雌	143	572,677	287	121	614,327	285
	雄						
	去勢	192	629,779	317	244	617,817	313
	計	335	605,404	304	365	616,660	304
合計	雌	611	608,498	289	627	588,995	286
	雄						
	去勢	969	679,868	322	1,040	651,186	319
	計	1,580	652,269	309	1,667	627,794	307

※ 価格は円（税込み）、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

区分	令和4年5月		令和4年6月	
	頭数	平均価格	頭数	平均価格
黒毛和種	921頭	614,808円	1,030頭	600,413円
褐毛和種	-	-	-	-
日本短角種	-	-	-	-
ホルスタイン種	-	-	-	-
交雑種 (母がホルスタイン種)	4頭	261,800円	2頭	273,900円

※ 指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛（区分ごとに体重の範囲が定められている。）

※ 平均価格は消費税込み